

サイバーリスクを補償する新商品の販売開始について

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：鈴木 久仁）は、サイバー攻撃によるリスクを総合的に補償する保険を共同開発し、9月から販売を開始します。

昨今、企業や団体に対する標的型メール等のサイバー攻撃が増加しており、その手法も巧妙化していることから、被害が深刻化する傾向にあります。こうしたリスクへの対策は企業経営における重大な課題となっており、リスクに対応した保険ニーズの高まりを受けて、この度、サイバーリスクに関する損害を幅広く補償する保険を新たに開発しました。

MS&ADインシュアランス グループは、今後もグループ各社のノウハウを結集し、多様化するお客さまニーズに応える商品・サービスの開発を積極的に進めていきます。

1. 商品名

■三井住友海上

「サイバーセキュリティ総合補償プラン」

■あいおいニッセイ同和損保

「サイバーセキュリティ保険（IT業務賠償責任保険 [拡張補償プラン]）」

2. 新商品の特長

(1) 幅広い損害をカバー

サイバー攻撃等によって発生した情報漏えいや他人の業務の阻害等に対する損害賠償のほか、事故対応に必要な各種対策費用まで補償します。また、ネットワークの停止・休止が発生した場合の利益損害を補償するオプションもご用意しています。

(2) サイバー攻撃等によって発生するさまざまな対策費用を補償

被害者に対する通知・見舞金費用、広告宣伝活動の方法を策定するためのコンサルティング費用のほか、事故発生時の事故原因や被害範囲の調査に要する費用、被害拡大防止のために要した費用等を補償します。

(3) 事故時の充実したサポート

サイバー攻撃等による被害が発生した際に、専門知識・技術を要する原因調査、証拠保全等の事故対応について、お客さまの要請に基づき、経験豊富な専門事業者を紹介します。

3. 開発の背景

昨今、企業に対するシステムへの不正アクセス、標的型メールの送付等のサイバー攻撃が増加し多様化しています。警察庁の統計（※）によると、2014年のサイバー犯罪等に関する警察への相談件数は約11.8万件と前年比で39.2%も増加しており、サイバーセキュリティ対策は企業にとって重要な課題となっています。こうした環境のもと、「幅広いサイバーリスクに対応した保険が欲しい」という顧客ニーズに応えるために、企業の対策の一助として活用できる本商品を開発しました。

（※）警察庁「平成26年中のサイバー空間をめぐる脅威の情勢について」より

以上